

LRT都市サミット鹿児島2015 サミット宣言

わが国の人口減少は今後さらに加速度的に進むと予測されており、特に地方における人口急減は労働力人口の減少や消費市場の縮小を引き起こし、一方高齢化に伴い社会保障費が増大するなど地域経済社会に甚大な影響を及ぼすことが危惧されています。こうした課題を克服するため、各都市においては将来にわたって地域の活力を維持できるよう、地方創生に関する取り組みが進められています。

このたび鹿児島島の地に集った8都市は、これまで路面電車を地域固有の資源として大切に守りながら維持・活用を図ってきました。そして本日のサミットを通じ、次世代型路面電車システムとしてLRT化を図ることにより、人口減少社会に対応した集約型まちづくりの基幹的交通手段として、また交流人口を拡大し中心市街地の活性化を図る都市の装置として、さらに大きな効果が期待できることを再確認しました。

ここに私たちは、路面電車のLRT化を通して高齢者や子育て世代にとって安心できる健康で豊かな地域社会を実現するとともに、持続可能な都市経営を図るため次のことを宣言します。

- 1 地方創生の取り組みを力強く推進するため、コンパクトな市街地を形成する集約型都市構造の実現に資する、路面電車をはじめとした公共交通ネットワークの形成を図り、歩いて暮らせる健康で持続可能なまちづくりを進めます。
- 2 観光客をはじめ来街者にとって分かりやすい交通手段である路面電車をまちの魅力として捉え、都市景観に配慮したLRT化と魅力の向上に努めることによって、国内はもとより海外も見据えた交流人口の拡大を図ります。
- 3 市民、事業者、行政の主体的な参画と協働のもと、路面電車をはじめ公共交通の利用促進を図り、次世代を見据えた環境負荷の少ない低炭素社会の構築に努めます。
- 4 路面電車のLRT化を推進するため必要な軌道事業者の技術力向上、経営基盤の健全化に対して支援を行うとともに、国や関係機関に対しLRT化に対する補助制度の拡充や税制上の優遇措置などについて働きかけます。
- 5 今後、全国の都市でLRTの導入やLRT化が進むよう、必要な情報や経験等を共有し、都市間の連携や、国や県など関係機関との連携をより一層強化します。



平成27年（2015年）10月23日

LRT都市サミット鹿児島2015 参加都市一同